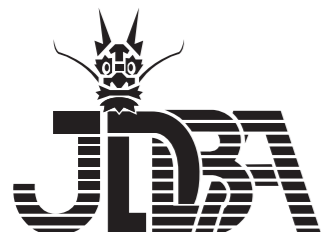


天神祭奉納

2015 日本国際ドラゴンボート選手権大会

第12回ADBFAジアドラゴンボート選手権最終代表選考会



世界的強豪  
チーム参戦!

スモールには  
香港チームが!

フィリピンから

聖地  
大川で



めざせアジア選手権  
龍舟激闘!

磯風漕友会の8連覇なるか(昨年の大会より)

【主催】天神祭渡御行事保存協賛会、一般社団法人日本ドラゴンボート協会、サンケイスポーツ、産経新聞社  
【後援】文部科学省、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市、大阪市教育委員会、関西河川スポーツ振興協会、夕刊フジ、フジサンケイ ビジネスアイ、ラジオ大阪、FM802  
【主管】一般社団法人日本ドラゴンボート協会、大阪府ドラゴンボート協会  
【協賛】レンゴ  
【協力】大阪水上安全協会、丸高渡船、広瀬産業海運、明生病院、大阪硝子、学校法人福田学園大阪工業技術専門学校校友会、ニチレク、サラヤ、ウイズコーポレーション

〒556-8663 大阪市浪速区湊町2丁目1番57号  
TEL.06-6633-1221(大代表) ©産経新聞社2015  
サンケイスポーツ  
平成27年(2015)  
7/19 日曜日 特別版



世界的強豪、フィリピンの現役軍人チーム「サルト」



日本三大祭として知られ、千余年もの長きにわたり浪速つ子に崇敬されてきた天神祭。その起源は天暦5(951)年、天満宮御鎮座の翌々年に、神鈴を流す神事が行われた際、天神様を奉じる地元の民が船を仕立て、出立したことに由来するといわれる。

7月24日の「宵宮」では、早朝から宵宮祭、鉦流神事、催太鼓などが、25日の「本宮」では、本宮祭、神霊移御祭、陸渡御、船渡御、奉納花火などが行われ、浪速の夏を熱狂の渦に巻き込む。なかでも、24日の陸渡御と、25日の船渡御は、色とりどりの衣装をまとった総勢3千余人が、勇壮な催太鼓に導かれ、浪速の町を練り歩く陸渡御は、まさにクールジャパン。また、大小約100艘の船がかり火をかかげて大川を行き交い「打ちましょっ!」と、大阪縮めめあさいっですれちがう船渡御は、浪速の生きた伝統そのもの。

そしてクライマックスは、夏の夜空を光で染める5千発の花火。天神様にちなむオリジナル花火「紅梅」やスターマインがあなただけにふりそそぐ。

本大会は、天神様のご縁を得て、天神祭奉納大会として昭和63(1988)年に第1回を開催。今年で27回目を迎える。

日本三大祭「天神祭」



ADBFAアジア選手権代表選考について

本大会(日本選手権)は、アジアドラゴンボート連盟(ADBFA)が来年、オーストラリアのアデレードで開催する「第12回ADBFAアジアドラゴンボート選手権」の最終代表選考会を兼ねている。代表選考はポイント制を採用。最終代表選考の対象となるのは、第1次選考会(5月17日、東京ドラゴンボート大会)または、第2次選考会(6月21日、堺東北港ドラゴンボート大会)のいずれかに出場したA団体登録チーム。

本大会で加算されるポイントは、1位12・5点、2位5点、3位2点。第1次、第2次選考会の獲得ポイントに、本大会でのポイントを加えた合計ポイントの最上位チームが日本代表に内定する。なお、複数のチームの合計ポイントが同一の場合は、本大会での成績上位チームを優先する。代表チームは、日本ドラゴンボート協会理事が最終決定し、大会終了後に発表される。

第1次、第2次選考会までの各A団体登録チームの獲得ポイントは別掲の通り。

種目	チーム名 (最終選考会対象チーム)	合計 ポイント	出場選考大会	
			東京大会	堺東北港大会
オープン	bp	5点		5点
	磯風漕友会	2.5点		2.5点
混合	関西龍舟シンバ	10点	5点	5点
	東京龍舟	2.5点	2.5点	
女子	TEAM 河童	10点	5点	5点
シニア	FUJIYAMA ALL STARS	5点	5点	

今年の大会には、二つの大きなトピックがある。一つは、世界最強クラスの強豪で、フィリピンの現役軍人チーム「サルト」(敬称)の初参戦。世界各地の大会で常に上位を占め、中国・福州市で開かれた「第1回ドラゴンボートワールドカップ」でも優勝を果たしている。本大会ではオープン部の部にエントリー。8連覇を前に「今年も勝って感謝、負けて悔いなしのやりきる練習を頑張ってきた」という「磯風漕友会」と、「磯風の8連覇を阻止するのは自分たち」と闘志を燃やす「bp」との戦いに、サルトの参戦がどんな波乱を起こすのか、決勝ゴールの瞬間まで、目が離せない。

二つ目のトピックは、10人漕ぎの「スモール」部の新設だ。20人の漕ぎ手が必要な通常のレースではハードルが高いチームも参加できる種目。ドラゴンボートのさらなる普及を担う。スモールの部に参加する「チーム☆ニライカナイ」の御正和監督は、「今回は関西への初遠征。思いっきり楽しんで、ドラゴンボート人口を増やす力になりたい」と話し、同じく関東から参加の「GD Dragons」の倉智ジョセフ監督も「大阪は楽しい!」と聞いているので、先輩チームといっしょに交流したい」と声を弾ませる。スモールの部には、香港のクラブチーム「フロンティア」や、フィリピン、ドラゴンボートレーシングチームも参戦する。ドイツの老舗織機メーカーの男性社員を中心に香港、中国、スイス、アメリカ、韓国など多彩な国籍を持つメンバーが、国際派のチームワークで優勝をねらう。「INO-G」、女子部の「SUPER DOLPHIN」、「TEAM 河童」、「桃色吐息」、シニア部の「FUJIYAMA ALL STARS」など、おなじみのチームも顔をそろえる。ドラマチックな戦いが、始まる。

大会スケジュール

◆開会式 8時20分~  
大阪・八軒家浜

◆競技開始 9時~

全34レース

決勝 (予定)

スモール	13時48分
シニア	15時36分
女子	15時48分
混合	16時24分
オープン	16時48分

◆閉会式 17時10分~(予定)  
大阪・八軒家浜
































歴代優勝チーム

年	オープン選手権	混合選手権	女子選手権	シニア選手権
1980年	神南	-	-	-
1989年	津奈木海龍	-	-	-
1990年	神南	-	-	-
1991年	開催せず			
1992年	神南	陸YOUNGS	水精会	-
1993年	坊勢酔龍会	びわびわびわびわ	武庫川女子大	-
1994年	坊勢酔龍会	香港ジャパニーズドラゴン	武庫川女子大カヌー部	-
1995年	カブトムシ	陸YOUNGS	武庫川女子大カヌー部	-
1996年	津奈木海龍	陸ペロンチーム	武庫川女子大カヌー部	-
1997年	チームSEIRYUカヌー	陸ペロンチーム	武庫川女子大カヌー部	-
1998年	横浜サフベイス	かぶとむしさんX	武庫川女子大カヌー部	-
1999年	舞浜河探険隊	陸ペロンチーム	ピンクゴリラズ	-

年	オープン選手権	混合選手権	女子選手権	シニア選手権
2000年	舞浜河探険隊	陸ペロンチーム	武庫川女子大カヌー部	-
2001年	サフベイス	東京龍舟	SUPER DOLPHIN	-
2002年	横浜サフベイス	陸ペロンチーム	SUPER DOLPHIN	-
2003年	舞浜河探険隊	陸ペロンチーム	SUPER DOLPHIN	-
2004年	大正大学水泳カヌー部	陸ペロンチーム	TEAM 河童	-
2005年	横浜サフベイス	陸ペロンチーム	SUPER DOLPHIN	東京ドラゴン・マスターズ
2006年	横浜サフベイス	東京龍舟	SUPER DOLPHIN	東京ドラゴン・マスターズ
2007年	THAILAND TEAM	東京龍舟	SUPER DOLPHIN	東京ドラゴン・マスターズ
2008年	磯風漕友会	東京龍舟	SUPER DOLPHIN	東京ドラゴン・マスターズ
2009年	船生ペロン 磯風漕友会	関西龍舟シンバ	SUPER DOLPHIN	東京ドラゴン・マスターズ
2010年	船生ペロン 磯風漕友会	関西龍舟シンバ	SUPER DOLPHIN	関西龍舟 ムファサ
2011年	磯風漕友会	Torrid Storm	SUPER DOLPHIN	関西龍舟 ムファサ
2012年	磯風漕友会	Torrid Storm	SUPER DOLPHIN	関西龍舟 ムファサ
2013年	磯風漕友会	INO-G	SUPER DOLPHIN	東京龍舟マスターズ
2014年	磯風漕友会	INO-G	SUPER DOLPHIN	FUJIYAMA ALL STARS



# 天神祭奉納 2015日本国際ドラゴンボート選手権大会 出場チーム紹介

 <h2>オープン 17チーム</h2>	<p>ビービージュニア bpジュニア (大阪・四條畷市)</p> <p>代表者 本間 康崇 監督 極楽寺 哲史 キャプテン 高橋 侑愛</p> 	<p>タイトムエックスドラゴンズ TAIMAM X DRAGONS (東京・台東区)</p> <p>代表者 丸山 春海 監督 渡邊 邦仁 キャプテン 片山 尚</p> 	<p>トウキョウリュウシュウマスターズ 東京龍舟マスターズ (東京・江戸川区)</p> <p>代表者 江畑 直紀 監督 江畑 直紀 キャプテン 近藤 繁</p> 
<p>A登録 イソカゼソウユウカイ 磯風漕友会 (兵庫・相生市)</p> <p>代表者 半田 佳彦 監督 河田 英幸 キャプテン 山本 聡</p> 	<p>ポウゼスリュウカイ 坊勢酔龍会 (兵庫・姫路市)</p> <p>代表者 岩本 峻 監督 岩本 峻 キャプテン 三和 立弥</p> 	<p>タイトムエックスリュウシュウタイ 大潭×龍舟隊 (東京・台東区)</p> <p>代表者 丸山 春海 監督 渡邊 邦仁 キャプテン 片山 尚</p> 	<p>ピワコリュウシュウ 琵琶湖龍舟 (滋賀・大津市)</p> <p>代表者 岡田 安知 監督 菱田 善明 キャプテン 中澤 千春</p> 
<p>A登録 ビービー bp (大阪・四條畷市)</p> <p>代表者 本間 康崇 監督 極楽寺 哲史 キャプテン 窪田 一磨</p> 	<p>ボンオヤージ Bon Oyage (東京・杉並区)</p> <p>代表者 西方 達哉 監督 西方 達哉 キャプテン 白柳 晴康</p> 	<p>ダチョウリュウシュウクラブ 打艇龍舟倶楽部 (大阪府)</p> <p>代表者 高橋 裕剛 監督 本多 法雄 キャプテン 川路 康平</p> 	<h2>女子 3チーム</h2>
<p>フィリピンアーミーチームサルト PHILIPPINE ARMY TEAM SALUTE (フィリピン)</p> <p>代表者 LEODEVIC B GUINID</p> 	<p>ヤンググリーン (兵庫・相生市)</p> <p>代表者 山崎 喜史 監督 山崎 喜史 キャプテン 山崎 喜史</p> 	<p>チームイットコ teamいっとこ (大阪府)</p> <p>代表者 中筋 友規 監督 藤原 慎也 キャプテン 竹尾 美紀</p> 	<p>A登録 スーパードルフィン SUPER DOLPHIN (兵庫・相生市)</p> <p>代表者 半田 佳彦 監督 河田 英幸 キャプテン 津川 紗貴子</p> 
<p>アイエイチアイアイ IHI 相生 (兵庫・相生市)</p> <p>代表者 松井 修 監督 松井 修 キャプテン 高橋 秀人</p> 	<h2>混合 20チーム</h2>	<p>チームバナナ Team BANANA (兵庫・芦屋市)</p> <p>代表者 三輪 史生 監督 三輪 史生 キャプテン 山岡 康博</p> 	<p>A登録 チームカッパ TEAM河童 (大阪・高石市)</p> <p>代表者 武藤 勝行 監督 井上 桃 キャプテン 橋 千穂</p> 
<p>アイエイチアイズリュウマル IHI 瑞龍丸 (東京・西多摩郡)</p> <p>代表者 井本 国俊 監督 松永 卓也 キャプテン 松永 卓也</p> 	<p>A登録 カンサイリュウシュウシンバ 関西龍舟シンバ (兵庫・芦屋市)</p> <p>代表者 柳田 匡俊 監督 下野 展男 キャプテン 水川 光一</p> 	<p>チームミライ チーム未来 (大阪府)</p> <p>代表者 高橋 誠 監督 瀧田 陽広 キャプテン 田中 勇人</p> 	<p>モモイロトイキ 桃色吐息 (大阪府)</p> <p>代表者 内田 優子 監督 生野 研一 キャプテン 内田 優子</p> 
<p>イケノサトレイカーズ 池の里LAKERS! (滋賀・大津市)</p> <p>代表者 高屋 和弘 監督 高屋 和弘 キャプテン 古口 謙二</p> 	<p>A登録 トウキョウリュウシュウ 東京龍舟 (東京・江戸川区)</p> <p>代表者 江畑 直紀 監督 江畑 直紀 キャプテン 福島 貴太</p> 	<p>トウカイリュウシュウ 東海龍舟 (愛知・名古屋)</p> <p>代表者 有坂 正和 監督 川端 祥弘 キャプテン 柴田 光輝</p> 	<h2>スモール 7チーム</h2>
<p>ウミザルヒグミ 海猿火組 (静岡市)</p> <p>代表者 伊藤 裕樹 監督 伊藤 裕樹 キャプテン 伊藤 裕樹</p> 	<p>アオイキトイキ 青息吐息 (大阪府)</p> <p>代表者 内田 優子 監督 生野 研一 キャプテン 内田 優子</p> 	<p>トウキョウドラゴン TOKYO DRAGON (東京・江戸川区)</p> <p>代表者 江畑 直紀 監督 江畑 直紀 キャプテン 山本 浩昭</p> 	<p>フーテンボートレーシングチーム Freudenberg &amp; Vilene Dragon Boat Racing Team (香港)</p> <p>代表者 DAVID WAN</p> 
<p>カンクウヒリュウ 関空飛龍 (大阪・泉佐野市)</p> <p>代表者 柿花 暢仁 監督 柿花 暢仁 キャプテン 柿花 暢仁</p> 	<p>イノジー INO-G (埼玉・幸手市)</p> <p>代表者 村田 幸範 監督 中島 千裕 キャプテン 大川 晃雄</p> 	<p>ピワコドラゴンボートクラブ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ (滋賀・大津市)</p> <p>代表者 岡田 安知 監督 菱田 善明 キャプテン 中澤 千春</p> 	<p>オーシーティドラゴンボートクラブ OCTドラゴンボート倶楽部 (大阪府)</p> <p>代表者 高山 厚 監督 中島 峻真 キャプテン 辻 大樹</p> 
<p>キンキョウリュウデンリュウ 近畿車輛 電龍 (大阪・東大阪市)</p> <p>代表者 尾松 直記 監督 尾松 直記 キャプテン 原田 大地</p> 	<p>オサカカンキョウダイガクジョウリュウ 大阪産業大学 常翔喜龍 (大阪・大東市)</p> <p>代表者 恩田 星満 監督 田中 謙 キャプテン 恩田 星満</p> 	<p>フォーティーズ (大阪・高槻市)</p> <p>代表者 岡田 恵子 監督 齒原 久 キャプテン 福山 聡久</p> 	<p>ジードラゴンズ G Dragons (東京・港区)</p> <p>代表者 倉智 ジョセフ 監督 倉智 ジョセフ キャプテン 倉智 ジョセフ</p> 
<p>コウリガオカコウゴキセイ 香里丘高校5期生 (大阪・枚方市)</p> <p>代表者 松本 安史 監督 重乃 将泰 キャプテン 高木 志穂</p> 	<p>カンサイリュウシュウバーリアンズ 関西龍舟バーリアンズ (兵庫・芦屋市)</p> <p>代表者 柳田 匡俊 監督 下野 展男 キャプテン 水川 光一</p> 	<p>ロウイングチームナニワ Rowing Team 浪わ (兵庫・尼崎市)</p> <p>代表者 増岡 昭男 監督 藤本 慎二 キャプテン 福田 峻</p> 	<p>チームカゼ team 風 (兵庫・宝塚市)</p> <p>代表者 田中 智子 監督 岸田 文夫 キャプテン 増本 恵史</p> 
<p>スイスマル すいすい丸 (京都市)</p> <p>代表者 岩城 耕一 監督 今川 昇 キャプテン 清田 和宏</p> 	<p>シーアイシーライジングスター CIC RISING STAR (東京・中央区)</p> <p>代表者 林 武彦</p> 	<h2>シニア 4チーム</h2>	<p>チーム☆ニライカナイ (東京・中央区)</p> <p>代表者 御正 和伸 監督 御正 和伸</p> 
<p>スキヤネンオオサカ 好きやねん大阪 (大阪・豊中市)</p> <p>代表者 左近充 次成 監督 左近充 次成 キャプテン 柳辺 寿男</p> 	<p>ジャングルマニア Jungle Mania (千葉・柏市)</p> <p>代表者 沢登 功一 監督 齋藤 統 キャプテン 沢登 功一</p> 	<p>A登録 フジヤマオールスターズ FUJIYAMA ALL STARS (東京・台東区)</p> <p>代表者 丸山 春海 監督 西方 達哉</p> 	<p>ピワニャン 琵琶にゃん☆ (滋賀・大津市)</p> <p>代表者 岡田 安知 監督 菱田 善明 キャプテン 中澤 千春</p> 
<p>パイレーツ (大阪府)</p> <p>代表者 宮村 一 監督 高安 正美 キャプテン 近藤 隆朗</p> 	<p>スイタリュウシュウクラブ 吹田龍舟倶楽部 (大阪・吹田市)</p> <p>代表者 松村 論 監督 松村 論 キャプテン 赤木 正幸</p> 	<p>オールビーズボウゼスリュウカイ ALL BEER's (坊勢酔龍会) (兵庫・姫路市)</p> <p>代表者 森 一成 監督 池田 良四郎 キャプテン 小林 由秀</p> 	<p>マーメイド (大阪府)</p> <p>代表者 菊田 千恵子 監督 山内 時代 キャプテン 山内 時代</p> 